

ある視覚障がい者からの不便さについてのご意見
ボタンを押さなければドアが開かない田舎の電車について

ご意見 目が見えないとボタンの位置や、そもそもボタンを押さなければならないこと自体がわからない場合もあり、
全自動にしてほしいと要望を出し続けていたのに、その要望が叶えられることはこれまで一度もなかった。

ところが、新型コロナウイルス騒ぎで「換気が重要」ということになり、瞬く間にそれらの電車のドアも全自動体制になったと聞きました…。」

でも、この騒ぎの後の事が心配。

問題点 ボタンを押さなければドアが開かない田舎の電車は、山形の仙山線の電車など、特に日本各地のローカル線で見受けられます。

世界でもパリを始め、車内温度を保つためかと思いますが、かなり多くの国で見受けられます。押しボタンスイッチでなく、レバーで開けるものもあります。恐らく降りるときよりも、ホームに入ってきた電車風圧を受けてから止まった後の短い時間でスイッチを探すことに困難があるのかと思います。

少し聴力の衰えた方は、電車が完全に止まったのかどうかの恐怖も感じる事が有るかもしれません。

解決後の姿 ホームに到着しても自動で全てのドアが開かない電車に視覚障がい者を含む誰もが安全に(ドアを開ける押しボタンスイッチを速やかに探して押すことで)ドアが開いて電車に乗り込むことが出来る事。

対策方法の考察案

皆様に良い方法を、お考え頂きたいのですが、少し考えたことを書きます。勿論、近くにドアの開閉を手伝ってくださる方がいない状況についてのご提案です。

1. 解決後の姿の()内は、ある視覚障がい者からの要請であるが、必ずしも必須ではないかもしれない。例えば、人感知センサー付の自動ドアなどの機能を安全を考慮して付加する。
2. 停車位置のブレイルタイルを規準に、押しボタンスイッチの大きさ、形状、高さ位置、点字情報等の標準を定め、関係者に周知徹底する。
3. 押しボタンスイッチの位置を知らせるブザー等を付加する。
4. 音声アナウンスで押しボタンスイッチの位置を知らせる。

以上